

GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821

宮崎労働局HP



令和8年2月統計

【労働災害発生状況】 死亡災害0件、死傷災害118件
(年計・コロナ感染症を除く休業4日以上の死傷災害)

【有効求人倍率】 1.14倍

地方版政労使会議を開催しました

～力強く発展する地域経済と、誰もが働きやすい宮崎の実現を目指して～

第10回みやざき働き方改革推進会議



地方版政労使会議は、賃金上げの環境整備に向けて全国の労働局で開催されており、宮崎労働局では2月16日にみやざき働き方改革推進会議を地方版政労使会議と兼ねて開催しました。

今年度は、主テーマを「賃金上げに向けた取組」、サブテーマを

「若者と女性に選ばれる地方に向けた取組」として、河野知事、清山宮崎市長をはじめ、政労使及び関係団体・機関のトップの皆様にご出席いただき、意見交換を行いました。

会議の締めくくりとして、県民及び県内企業に向け、参加団体が

連携・協力しながら、賃金上げの環境整備を進め、賃上げや働きやすい職場づくりに取り組む企業を後押しすること、さらに、価格転嫁への理解や、性別役割分担意識の見直しなどを広く呼びかけるため、共同メッセージを発信しました。(裏面に続く)





ゲストとして宮崎市の若者女性支援をプレゼンする清山市長（上段）、宮崎県商工会連合会瀬上会長、宮崎県中小企業団体中央会堀之内会長（下段）

共同メッセージ
力強く発展する地域経済と、誰もが働きやすい宮崎の実現を目指して

物価高騰が続く中、県内企業の経営環境は厳しい状況にあります。特に中小企業・小規模事業者への影響は大きく、県民の皆さまの生活にも影響が生じています。また、人口減少や都市部への人口流出による人手不足も深刻化しており、県内企業の人材確保・定着が地域経済にとって大きな課題となっています。このような状況を踏まえ、私たちは、県内企業の安定と成長を支え、力強く発展する地域経済と、誰もが働きやすく、働きがいを感じられる宮崎の実現を目指して、以下に掲げる項目に、参加団体それぞれの立場に応じて、相互に連携・協力して取り組んでまいります。

【私たちが連携・協力して取り組む内容】

- 1 労務費、光熱水費、原材料費等を適切に価格転嫁できる環境整備
取引の適正化や価格交渉の適切な実施を進め、事業者が必要な労務費、光熱水費、原材料費等の上昇するコストを適切に価格転嫁できる環境整備に努めます。
- 2 中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備
設備投資、業務改善、DX化等による生産性向上への取組を支援し、賃上げに取り組む企業を後押しします。
- 3 人への投資の推進
リ・スキリングによる能力向上支援、キャリア形成支援を通じ、地域の人材強化を推進します。
- 4 誰もが働きやすく、働きがいを感じられる職場づくりの推進
多様で柔軟な働き方の実現、ハラスメントの防止、若者や女性にも選ばれる職場づくりに向けた支援などを進め、誰もが働きやすく、働きがいを感じられる職場づくりを推進します。

～宮崎県にお住まいの皆さま及び県内企業の事業主の皆さまへ～

- 労務費、光熱水費、原材料費等の適正な価格転嫁にご理解をお願いします。
賃金引上げや事業の継続に必要な労務費、光熱水費、原材料費等を取引価格に適切に反映することは、生活や企業経営の安定と地域の発展を支える大変重要な取組です。皆さまには、こうした価格転嫁へのご理解をお願い申し上げます。
- 性別や年齢にとらわれず、誰もが働きやすい社会をともに作りましょう。
誰もが働きやすく、働きがいを持てる社会を実現するためには、職場環境の整備に加え、職場や家庭の場で性別による固定的な役割分担意識を見直すことが大切です。宮崎県が若者や女性にも選ばれる、より魅力ある地域となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年2月16日

第10回 みやざき働き方改革推進会議
（地方版政労使会議）



宮崎県経営者協会杉田会長、宮崎県商工会議所連合会米良会長



連合宮崎吉岡会長



河野宮崎県知事（右）、吉越宮崎労働局長（左）

労災防止取組表彰
SAFEアワード受賞
都城市スマイリング・パーク



一昨年6月、宮崎労働局長が社会福祉法人スマイリング・パークが運営する介護施設を視察し、その様子はGOGO!宮崎労働局でもお伝えしたところです。

この度、同法人が労働災害防止等に取り組む企業を表彰する厚生労働省主催の「SAFEアワード」（エイジフレンドリー部門）の最高賞「ゴールド賞」を受賞しました。「徹底的なDX化で腰痛・転倒ゼロへ。」を合言葉に、健康で楽しく働き続けられるための取組が評価されました。



表彰式で登壇した吉村施設長（右）



編集後記 ～GOGO!宮崎労働局から学んだこと～

宮崎労働局の重要な業務の一つにその取組を広報することがありますが、着任した当時はまさか自分が労働局の広報誌を作成することになるとは思ってもいませんでした。

効果的な広報につなげる手法をAIにこっそり聞いてみるもはかばかしい回答はなく、そうは言っても毎月の発行期限は着々とやってきます。

▼要点は深い理解から

幸いなことに、各部署からは、管理者を中心に要点を押さえたわかりやすい原稿や写真を毎回早めにご提供いただきました。外部で話す機会などでも活用でき、広報担当の雇均室長としては一石二鳥でもありました。

業務を深く理解し、精通し

たプロが書くからこそ端的でわかりやすものとなる、このことに気づいた時にはA4裏表の広報誌ががぜん輝いて見えたものです。

▼広報は窓

一方で、行政として正確を期すあまり読む人の視点を常に忘れないようにする必要がありました。そこにある景色（伝えたいこと）を広報という窓を通じて受け手に届ける、そんなことをイメージしてレイアウトを組み立てたりしました。

二年間なんとかやりお世話のもご愛読者やご協力のおかげです。ありがとうございました。引き続き、GOGO!宮崎労働局をよろしく願います。

雇環境・均等室長（三浦）

